

# 水俣市観光振興計画（素案）についてのパブリック・コメント

## 実施結果及び市の考え方について

「水俣市観光振興計画（素案）」について、市民の皆さまからの御意見等を募集しましたが、寄せられました御意見等とこれらに対する市の考え方を下記のとおり掲載いたします。御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

### 1 募集期間

令和4年11月18日（金）～令和4年12月2日（金）

### 2 閲覧場所

① 市役所舎内（3階資料閲覧コーナー、経済観光課窓口）、②もやい館（2階受付前）、③おれんじ館、④愛林館、⑤湯の鶴温泉保健センター、⑥道の駅みなまたインフォメーションセンター、⑦水俣市ホームページ

### 3 御意見等総数（意見等提出者数）

提出	8件（1人）
郵送	0件（0人）
FAX	0件（0人）
Eメール	0件（0人）
計	8件（1人）

### 4 御意見等の取り扱い

意見等を踏まえ、素案を修正・追加補足するもの	0件
今後の取組の参考とするもの	7件
上記のどちらでもないもの	1件

## 1 パブリック・コメント意見等に係る市の考え方

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
1	<p>【ページ】 20 ページ</p> <p>【項目】</p> <p>① 方針1 戦略的な観光 施策1 水俣ならではの魅力的な観光消費の促進</p>	<p>&lt;具体的な取組&gt;江口寿史氏の作品と人物像を背景とした誘客について</p> <p>とにかく江口氏のファンを呼び込むための「場所」と「物」づくりを。</p> <p>聖地巡礼と同じで、先のラッピングトラックやマンホールに遠方よりファンが来ている。大事なのは継続させることと広がりを持たせること。</p> <p>例えば、スタンプラリーをある一定期間行うなら、その際に別の江口氏の作品と触れ合える機会を作ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江口氏の作品を全部読める場所（旧湯出中に部屋を作る）</li> <li>・江口氏の直筆サインの場所巡り（酔仙食堂、市役所など）</li> <li>・江口氏のイラストを使った商品が買える店、江口氏イラストラベルの商品（菓子、ちくわ、総菜、酒、茶など）</li> <li>・旅館などで江口氏のPRパネル（顔はめ等）写真スポット</li> <li>・江口寿史氏のくまモン化</li> </ul> <p>とにかく水俣に来たらいろんなところや物で彼の作品に会える。</p> <p>市の公用車を一定時期、江口氏イラストのイタ車にしてもいいのでは。</p> <p>お茶などいろんな商品にアニメイラストを使っているが、江口氏のイラストを使った方がずっと良い。</p>	<p>江口寿史氏におかれましては、本市の観光大使として観光振興のための取組に対するイラスト使用など様々な形で協力いただいております。</p> <p>江口氏の思いを受け止めながら、作品に触れることができるスポットづくりなどを含め、引き続き、様々な取組について検討してまいります。</p>
	<p>【ページ】 21 ページ</p> <p>【項目】</p> <p>① 方針1 戦略的な観光 施策4 持続可能な担い手づくり</p>	<p>湯の児も湯の鶴も範囲が広くなく「丁度良い」温泉地であるため、空き店舗のリノベーションを積極的に行って、カフェやショップなどおしゃれで小さい個人の店をオープンさせられるようにしてほしい。</p> <p>やりたい人が一番悩むのが、場所は使えてもそこを利用可能なまでに整備する費用がない。最低限の設備（壁、床、水道、電気）を行政が整え、「内装は自由」で入居可能なスペースを提供してはどうか。担当部署を越えて実現してほしい。</p>	<p>空き店舗の活用については、本市においても課題だと認識しております。</p> <p>そこで、市では創業しやすい環境を整えるために、令和元年度から創業支援事業補助金や創業融資制度などの支援策を実施し、これまで数多くの創業希望の方に活用いただいております。</p> <p>特に補助金については、設備改修や機材購入に活用できるほか、貸店舗で営業される場合には最大2年間の家賃補助も行っており、大変好評をいただいております。</p> <p>施設や設備については、創業される方それぞれ希望が異なりますので、市で直接施設を提供することは難しいですが、ご意見を踏まえて、これらの制度を積極的にアピールするとともに、引き続き創業しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>

<p>【ページ】 21 ページ</p> <p>【項目】 ②方針2 「学ぶ・留まる」を促す 観光 施策1 スポーツ施設やアクティビティをフックにした誘客促進</p>	<p>&lt;具体的な取組&gt;湯出七滝の体験型コンテンツの造成について</p> <p>現状（問題点）</p> <p>(1) 道が悪い 下村から橋を渡って左→小滝手前までの車道ルートは、小滝駐車場までの車道を定期的に整備が必要（落石、草）。 下村から橋を渡らず左→桜野上場方面からのれん滝ルートは、座頭滝前の休憩スペース、のれん滝駐車場の定期的な清掃が必要</p> <p>(2) 環境保全（整備活動）がやりにくい 予算も人もない。ある程度予算をつけて、地元へ委託しては？ 道路崩落などは大きな工事が必要だが、小さな整備はある程度のスキルで可能である。</p> <p>(3) 利益を生まない 滝に来る人にあらかじめ、弁当、飲み物などの予約販売をしては。それを旧湯出中を再活用し、調理室で自治会主体で活動できないか。</p> <p>(4) 管理（維持含む）人がいない 2)と同様で、地元、自治会、民間団体等に予算をつけ委託してはどうか。 以上（1）～（4）が整うと人は呼べる。</p> <p>&lt;コンテンツ造成の例&gt;</p> <p>①トレッキング ②トレイルラン ③岩石などの自然観察 ④道づくり体験 ⑤スポーツ合宿の練成場所 ⑥源水汲み ⑦小学生の遠足</p> <p>フィールドがある程度整い、安全確保ができれば実行可能</p>	<p>湯出七滝については、本市でも湯の鶴地区における貴重な観光資源であると認識しています。また、ご意見をいただきました周辺状況の継続的な管理等も課題と捉えています。</p> <p>引き続き、課題等に対する取組と魅力あるコンテンツ造成について、検討していきたいと考えています。</p>
---	---	---

<p>【ページ】 23 ページ</p> <p>【項目】 ③ 方針3 リピートしたくなる観光 施策2 湯の鶴地域における資源を生かした観光コンテンツの創造・充実</p>	<p>&lt;具体的な取組&gt;温泉の効能の調査について</p> <p>とても良いことですが、良い温泉を発信して人が来た時に掃除やホスピタリティが悪いと一気にダウンする。まずは、景観維持も合わせて旅館・温泉と道路沿いの壊れた建物を撤去して街並みを清潔に見せるべき。</p>	<p>観光客目線での景観維持に関しては、市としても課題と認識しておりますので、地元自治会や観光事業者とともに、その改善に向けて引き続き取組を検討してまいります。</p> <p>また、管理不全の空き家に関しては、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、所有者が自ら適正な管理を行っていただくため、引き続き、情報提供等の取り組みを進めてまいります。</p>
	<p>&lt;具体的な取組&gt;空き店舗や空き旅館の利活用促進について</p> <p>若い人にカフェやショップをオープンしやすくするためのリノベーション促進。ある程度まで行政で支援し、入居者を募集する。</p>	<p>商店街等の空き店舗や空き旅館をリノベーションして事業を始めたい方に対しては、創業支援事業補助金や創業融資制度などの支援策を実施しております。</p> <p>特に補助金については、設備改修や機材購入に活用できるほか、貸店舗で営業される場合には最大2年間の家賃補助も行っており、実際にカフェや小さな店舗を開業した方もおられ、好評いただいております。</p> <p>ご意見を踏まえて、これらの制度を積極的にアピールするとともに、引き続き創業しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>
	<p>&lt;具体的な取組&gt;湯の鶴温泉保健センターほたるの湯の活用促進について</p> <p>管理者が変わってもまだ「清掃に満足していない」という意見が上がる。とにかくきれいに清潔な管理運営を徹底する。</p>	<p>市と指定管理者との同施設における管理運営に関する協定書の中で、指定管理者の業務として清掃業務についても定めており、各箇所の日常清掃並びに定期清掃をすることとしています。</p> <p>併せて、お客様の声も共有するようしており、苦情等があった場合は速やかに改善を図るよう取り組んでいます。</p> <p>ご意見を受け止め、今後も引き続き、施設の適正な管理に努めていきます。</p>
	<p>&lt;具体的な取組&gt;旧湯出中学校の活用について</p> <p>地元民間団体や自治会が管理できるような体制づくり</p>	<p>旧湯出中学校については、現在避難所としての活用や地元自治会の活動の場として利用されています。</p> <p>さらなる活用方法については、民間団体や自治会のご意見を伺ったうえで、継続的に管理が可能な体制や取組など、検討していきたいと考えています。</p>

		<p>&lt;具体的な取組&gt;二次交通網の確保と関係事業者と連携した利用促進策の検討について</p> <p>バスの便が悪い、時間帯が悪い。みなくるバスの運行に意見したが、街中心部への(からの)放射線状にルート化した方が細かい運行ルートができる。湯の鶴⇄茂道は時間がかかりすぎる、便の少なさにも影響。</p>	<p>みなくるバスに関しましては、地域住民の買い物や医療施設への通院等、特に日常生活に必要な交通手段を維持することを目的として、利便性と効率化のバランスを考慮しながら運行を行っています。</p> <p>一方で、観光地までの二次交通の確保も考えていく必要があると認識しているため、今回の計画案に掲載のとおり、関係事業者と連携して利用促進策の検討を行う方針です。</p>
--	--	---	---